

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 765 号	氏名	村岡 いづみ
学位審査委員	主 査	李 桃生	
	副 査	永安 武	
	副 査	中尾 一彦	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、細胞シート工学技術の肝臓外科領域への活用を目指して、肝臓実質の切離断面に皮膚線維芽細胞シートを貼付し、肝臓の再生に与える影響とその機構を明らかにするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>Sprague Dawley ラット由来皮膚線維芽細胞シートを作製し、F344 ノードラットの肝実質の切離面に貼付する。術後 7, 14, 28 日目に Azan 染色や免疫染色法などにより、細胞シート移植した肝臓局所の組織学所見および移植した皮膚線維芽細胞の役割について詳しく解析評価を行った。これらの研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、細胞シート移植した局所に著明な線維芽組織の増生が観察され、その周辺には OV6 陽性前駆細胞、幼弱な α-fetoprotein 陽性肝細胞様細胞、cytokeratin-8 陽性新生胆管上皮細胞および胆管様管腔構造の出現が観察された。しかし、移植した線維芽細胞からは、肝細胞や胆管上皮細胞への分化はほとんど認められなかった。本研究の成果は細胞シート工学技術が肝臓外科領域への応用に貢献するものと評価される。</p>			
<p>以上のように本論文は、肝臓における再生修復研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			